

## 解説

FAF・FASB・GASBの  
戦略的計画（案）

米国財務会計基準審議会（FASB）国際研究員 かわにし やすのぶ 川西 安喜



## はじめに

2014年12月4日、米国財務会計財団（FAF）、米国財務会計基準審議会（FASB）及び米国政府会計基準審議会（GASB）は、組織の長期のビジョン及びミッションを明らかにする戦略的計画の作業用ドラフト（以下「戦略的計画（案）」という。）を公表した。この戦略的計画（案）は、過去の計画及びミッションを発展させ、精緻化したものであり、その言葉遣いや内容は、FAF、FASB及びGASBの取組みを追っている者にとってなじみのあるものであるとしている。なお、FAFは、FASB及びGASBの母体組織であり、監督機関である。

本稿では、この戦略的計画（案）の内容を紹介する。FASBのボード・

メンバーやスタッフが、個人の見解を表明することは奨励されており、本稿では、筆者個人の見解が表明されている。会計上の問題に関するFASBの公式見解は、厳正なデュー・プロセス、審議を経たものに限られている。

## ビジョン

戦略的計画（案）は、FAF、FASB及びGASBのビジョンについて次のように述べている。

私たちのビジョンは、財務会計及び財務報告における認知されたリーダーとなることである。

戦略的計画（案）のコアとなる原則は、FAF、FASB及びGASBが、それぞれの役割において一番となり、誠実性、客観性、独立性、透明性、包括性及びリーダーシップに対するコミットメントを裏付けるような包括的なプロセスを通じ、最高品質の会計基準を設定するということであるとしている。ここで、最高品質の会計基準とは、財務諸表の利用者に対して、明瞭で、有用で、ニーズと関連性のある情報を提供しつつ、そ

の情報を提供するために財務諸表の作成者において発生するコストが、もたらされる便益によって正当化されることを確実にするような会計基準をいう。

また、戦略的計画（案）は、このような会計基準の開発に当たり、FAF、FASB及びGASBは、まず、米国の資本市場及び米国会計基準を使用又は参照する世界の他の市場に参加する投資家等の最大の利益を考慮するとしている。さらに、この目的を達成するに当たり、FAF、FASB及びGASBは、関係者並びにFAF、FASB及びGASBの活動を監督する組織（FAFの評議員会、米国証券取引委員会（SEC）、並びにSECを通じてFAF、FASB及びGASBを監督する米国議会）に対して確実に説明責任を果たすとしている。

戦略的計画（案）は、最高の会計基準設定プロセス（アウトリーチ、レビュー及び会計基準の記述を行うプロセス）を設け、これを遂行し、最高品質の会計基準を生み出すことにより、FAF、FASB及びGASBは、他の会計基準設定主体が自らの取組みの品質を判断するに当たっての参照点及びベンチマークとなるとして

いる。また、他者が見習おうと思うような優秀さの模範となることにより、リーダーになるとしている。

## ミッション

戦略的計画（案）は、FAF、FASB及びGASBのミッションについて次のように述べている。

私たちのミッションは、次のとおりである。

投資家及び財務報告書の利用者にとって有用な情報を提供するために財務会計及び財務報告に関する基準を設定し、これを改善する。

それらの基準を最も効果的に理解し、適用する方法について関係者を教育する。

### (1) 会計基準の開発

FAF、FASB及びGASBは、それぞれの具体的な役割に応じて、この総合的なミッションに貢献することとなる。FASB及びGASBは考えられる最高のプロセスを通じて、最高品質の会計基準を設定する責任を負っている。FASBは公開企業及び非公開企業を担当し、GASBは州政府及び地方政府を担当している。FAFは、独立性、包括性及び有効性のある会計基準設定プロセスを確実にするために、FASB及びGASBの取組みを監督し、これを支援する責任を負っている。

FASB及びGASBは、会計基準の設定に当たり、開かれた、秩序あるプロセスに従うことにコミットしている。FASB及びGASBの包括的なデュー・プロセスの手続きは、財務会計及び財務報告に関する論点について、適時に、徹底的に、開かれた形で研究することを可能にしている。

また、その手続きは、プロセスのすべての段階ですべての見解に耳を傾ける機会を設けることにより、会計基準設定プロセスへの一般からの幅広い参加を奨励している。

FASB及びGASBは、デュー・プロセスを通じて寄せられたコメントを注意深く考慮することにより、結論の品質が向上することを承知している。したがって、関係者及び一般からのフィードバックに対応して、提案が修正される形で、デュー・プロセスが繰り返されることが多い。

### (2) 関係者の教育

ここで「教育」という用語は、最も広い意味で使われており、利用者、作成者及び実務家が、専門的なレベル及び「平易な英語」のレベルで作成されたリソース及び説明資料について、幅広いチャネルを通じて可能な限り低いコストで、幅広く容易に入手できることを確実にすることを意味している。そのようなチャネルには、FASB及びGASBのウェブサ

イト（オンラインセミナーを含む）並びに講演が含まれる。

## コアとなる価値観

戦略的計画（案）は、FAF、FASB及びGASBは、ビジョンの実現及びミッションの遂行に当たり、活動の指針としてコアとなる価値観に依拠するとしている。長年にわたり識別され、明らかにされてきたこれらの価値観は、下表のとおりであるとしている。

## コアとなるメッセージ

戦略的計画（案）は、その内容について説明するに当たってのコアとなるメッセージは、次のとおりであるとしている。

私たちは将来を見据えており、私たちはこの先数年間の進路を決めている。

誠実性	FASB、FASB及びGASBにとって、誠実性とは、デュー・プロセスを遵守することをいう。デュー・プロセスは、財務報告に関心のあるすべての関係者に会計基準の開発に参加することを奨励している。デュー・プロセスは、ミッションの中心をなすものである。
客観性	デュー・プロセスは、さまざまな見解に耳が傾けられ、注意深く考慮されることを確実にしている。客観性は、最高の解決策にたどり着くために、特定の視点又は結論に与することなく、異なる見解を評価し、検討することを要求している。
独立性	会計基準は、投資家、市民その他財務報告書の利用者に対して可能な限り最高品質の財務報告情報を提供することに注力した、特定の利害がない環境において開発されなければならない。
透明性	FASB及びGASBは「太陽の下で」活動する。いつでも会計基準設定主体が何をしているのかを知ることができることは、プロセスへの関与とプロセスに対する信頼を高める。
包括性	幅広い関係者の見解を募り、思慮深い注意をもってこれらの見解に耳を傾けることは、論点に関する合理的な解答に至るための前提条件である。
リーダーシップ	関係者は、FAF、FASB及びGASBが高品質の会計基準の開発を先導し、その結果、米国内外において米国の資本市場に対する信頼が高まることを期待している。

私たちは最高のプロセスを通じて最高の会計基準を生み出す。

私たちは変化をもたらしたい。

- 私たちは、リーダーとなることにコミットしている。
- 私たちは、仕事に情熱を持っている。
- 私たちは、将来に関する明確な計画を立てている。
- 私たちは、関係者と信頼関係を築いている。

これらの結果として、私たちは、財務会計及び財務報告におけるリーダーとして認知され、見習われる。

## 4つの最優先事項

戦略的計画(案)は、FAF、FASB及びGASBが総合的なミッションを遂行するに当たっての4つの最優先事項を定めている。

- (1) 引き続き会計基準設定における優秀さを実践し、これを推進する。
  - (2) 会計基準設定におけるリーダーシップに対するコミットメントを行動で示す。
  - (3) 関係者との信頼を構築し、これを維持する。
  - (4) 現在及び将来の財務報告に関する論点における一般の議論に貢献する。
- (1) 引き続き会計基準設定における優秀さを実践し、これを推進する**
- これは、考えられる最高のプロセス、すなわち、誠実性、客観性、独立性、透明性、包括性及びリーダーシップを支持し、これらを推進するプロセスを通じて最高品質の会計基準を設定するということである。このプロセスの一環として、FAF、FASB及びGASBはつねに、米国の

資本市場及び米国会計基準を使用又は参照する世界の他の市場に参加する投資家等の最大の利益を第一に考慮する。

また、FAF、FASB及びGASBは、財務報告書の利用者にとっての有用性を改善しつつ、その情報を提供するコストを考慮する。FAF、FASB及びGASBは、効果的かつ効率的な会計基準設定プロセスを改善し、これを維持する。FAF、FASB及びGASBは、高品質でダイバーシティのある従業員を引き付け、育て、組織に残るようにする。FAF、FASB及びGASBは米国会計基準による財務諸表の便益及び独立性のある会計基準設定プロセスが極めて重要であることについて、関係者を教育し、関係者に説明する。

### (2) 会計基準設定におけるリーダーシップに対するコミットメントを行動で示す

FAF、FASB及びGASBは、コアとなる価値観を反映するプロセスを通じて最高品質の会計基準を生み出す。その結果、FAF、FASB及びGASBの取組みは世界中から認知され、尊敬され、見習われる。FASB及びGASBの会計基準は、高品質の会計基準の中でも最高のものとして認知される。FASBは他の会計基準設定主体と協力し、国際財務報告基準(IFRS)の開発に参加し、IFRSの開発を具体化させ、GASBは、国際公会計基準(IPSAS)の開発に参加し、その知的リーダーシップを通じてIPSASの開発に影響を与える。FAF、FASB及びGASBは模範を示すリーダーとなる。

### (3) 関係者との信頼を構築し、これを維持する

FAF、FASB及びGASBは、独立性

のある会計基準設定プロセスにおいて極めて重要な役割を果たす、関係者との信頼を構築し、関係者による支持を維持することを目指す。FAF、FASB及びGASBは、重要な財務会計及び財務報告の論点について、関係者と交流し、自分たちの考えを共有するとともに、関係者の考えを理解しようとする。このような開かれたコミュニケーションを通じ、FAF、FASB及びGASBに対する関係者の評価を理解し、問題となりそうな論点があればそれを扱う計画を策定し、「大使文化」を推進する。

「大使文化」の推進に当たり、FAF、FASB及びGASBは、その内部の者が関係者と交流するに当たり、大使の役目を果たせるようにしておく。大使には、現在及び過去のFAFの評議員、FASB及びGASBのボード・メンバー、各諮問グループのメンバー、出向者並びにプロパーのスタッフ等が含まれる。大使たちが、FAF、FASB及びGASBが何をしており、なぜそれをしており、またどのようにしているのかについて同僚、同輩等と議論できるようにすることにより、関係者に対する個人的なアウトリーチの階層が厚みを持つことになる。

また、GASBと、州政府協議会、国際市・カウンティ支配人協会、全米カウンティ協会、全米州議会議員連盟、全米知事協会、全米都市連盟、全米市長会、全米州監査・会計管理・財務長官協会及び政府財務職員協会を含む関係者の主要な組織との交流のために、フォーラムその他の機会を設ける予定である。

**(4) 現在及び将来の財務報告に関する論点における一般の議論に貢献する**

FAF、FASB及びGASBは、関係者にとって重要な財務会計及び財務報告に関する議論を具体化させ、これを先導する助けとなるため、影響力のある思想家、すなわち、オピニオン・リーダーの地位を確立する。オピニオン・リーダーになるということは、関係者の最も大きな疑問に対する、信用できる、革新的なコメントを識別し、提供することにより、主要な聴衆にとっての認知された権威となるということである。

オピニオン・リーダーになることは、財務会計及び財務報告における認知されたリーダーとなるというビジョンと整合し、リーダーシップに対するコミットメントを行動で示し、関係者と信頼関係を構築するという目標を推進する。この目的を達成するため、FAF、FASB及びGASBは、議論する論点を識別し、優先順位を

付けるプロセスを設け、見解を共有するために論点ごとに用いるチャンネルを決定する。

**成功の尺度**

戦略的計画（案）は、組織の総合的な成功の尺度として、下表の3つを用いている。

戦略的計画（案）は、FAF、FASB及びGASBの役割が相互依存的であるため、これら3組織の成功の尺度は、個別には異なるものの、組織横断的に適用されるとしている。

また、戦略的計画（案）は、成功を測るために用いるツールには、定期的な従業員の満足度調査、健康診断、及び関係者による評価の調査や、さまざまな形で行われる関係者に対する非公式のアウトリーチが含まれるとしている。さらに、成功に関する評価は、FAFの評議員、FASB及びGASBのボード・メンバー等の公式の評価に反映するとしている。

なお、成功を測る経験が蓄積されるに従い、目的の達成に向けての達成事項や進捗度を測定するための追加的な方法（定量的な方法と定性的な方法の両方を含む）を検討する予定であるとしている。

**おわりに**

戦略的計画（案）の作成に当たり、FAFは、幅広い関係者と議論を行ったとしている。その一環として、外部のコンサルタントを雇い、125名を超える関係者に対してインタビューを匿名で実施したとしている。

戦略的計画は、2015年2月のFAFの評議員会において採択される予定であり、関係者からコメントがあれば歓迎するとしている。

尺度	内容	成功を測るための指標の例
関係者にとっての価値	組織として生み出す価値を考える場合、関係者と、財務会計及び財務報告の制度における私たちの役割について考える。私たちの努力から関係者はどのような便益を得ているのか。私たちは制度に対する信用にプラスの影響を与えているか。関係者は私たちをリーダーとみているか。私たちは信頼に値するか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FASB及びGASBの会計基準が資本の有効な利用をもたらすとの関係者の信頼度</li> <li>• FASBの会計基準を使う非営利企業及び非公開企業の数</li> <li>• GASBの会計基準を使う政府及び政府系機関の数</li> <li>• 組織全体についての関係者の見方</li> </ul>
業務	業務について考える場合、効率性と有効性を考える。私たちはコスト効率がいよ形でリソースを使っているか。私たちの会計基準設定プロセスは、機能する、効果的な高品質の会計基準を生み出しているか。私たちは継続的改善の意識を持っているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 財務諸表の品質に対する利用者の見方、すなわち、FASB及びGASBの会計基準は意思決定又は評価を行う上で有用な情報を提供しているかどうか</li> <li>• テクノロジーその他の手段に起因する内部的な効率の上昇</li> <li>• FASB及びGASBの会計基準が当初の目的を達成していることを確認する適用後レビューの結果</li> <li>• GASBのボード・メンバー、スタッフ及び関係者による国際公会計基準設定活動へのより積極的な参加</li> </ul>
従業員	従業員について考える場合、満足度、進歩、知識及びスキルについて考える。私たちは、才能と知識のあるスタッフを引き付け、組織に残すことができるか。従業員はそれぞれの仕事と私たちのミッションについて情熱を持っているか。私たちは従業員に成長の機会を与えているか。私たちは効果的に人材を活用しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FASB及びGASB並びにFAFの評議員会への有能な人材の指名</li> <li>• スタッフの品質に関する好意的な評価</li> <li>• 組織のすべての階層における、バランスのとれた、ダイバーシティのある従業員の配置</li> <li>• 才能と知識のあるスタッフを引き付け、組織に残す能力</li> </ul>